



議会だより

あ い か わ

第 118 号

責任者 議会議長 中山民子
年 4 回発行・本号12ページ



田代中津神社 八坂祭 御浜降り

製造請負契約の締結を可決

P 3

(仮称) 愛川町新郷土資料館展示資料等製作委託

財産の取得(ハイブリッド塵芥収集車)他 3 件を可決 P 3

町政を問う、10人が一般質問 P 5

平成20年 8 月15日

〈 6 月定例会 〉

○発行/愛川町議会 編集/議会だより編集委員会 〒243-0392 神奈川県愛甲郡愛川町角田251-1 046-285-6927(直通) 046-285-2111(代表)

提出議案12件可決

平成20年第2回愛川町議会「6月定例会」は、6月2日に開会され、会期15日間（本会議開催日4日間）にわたり開催されました。

この定例会では、専決処分、条例の改正をはじめ補正予算、製造請負契約・工事請負契約の締結、財産の取得など、合計12件の町長提出議案を可決しました。

本号では、これら「6月定例会」の内容を中心にお知らせいたします。

専決処分

◎専決処分の承認（税条例の改正）

（賛成全員）

ポイント＝公益法人制度改革などによる地方税法等の一部改正に伴い、法人町民税の均等割等に係る規定が改正されたことから、関係条文に所要の改正を行ったものです。

施行期日は平成20年12月1日。

◎専決処分の承認（国民健康保険条例の改正）

（賛成14人・反対2人）

ポイント＝後期高齢者医療制度（長寿医療制度）の創

設に伴い、地方税法及び同

法施行令が一部改正された

ことから、国民健康保険税

の基礎課税額の限度額を改

め、併せて後期高齢者支

援金等課税額の限度額を定め

るものです。

また、後期高齢者医療制

度創設時の後期高齢者又は

制度創設後に75歳に達する

者が、国民健康保険から後

期高齢者医療制度に移行す

る場合、同じ世帯に属する

単身の国民健康保険の被保

険者世帯が、国民健康保険

税について減額措置を受け

られるよう所要の措置を講

じたものです。

なお、改正に伴う限度額

等の表は下表のとおりです。

基礎課税額等の限度額の改正

区 分	改正前	改正後	増 減
基礎課税額の限度額	56万円	47万円	△9万円
後期高齢者支援金等課税額の限度額	—	12万円	12万円
介護納付金課税額の限度額	9万円	9万円	同額
課税限度額の合計	65万円	68万円	3万円

世帯別平等割額に関する軽減措置

区 分	改正前	改正後	
基礎課税額の世帯別平等割額	1世帯につき 17,500円	特定世帯以外の世帯	17,500円
		特定世帯	8,700円
後期高齢者支援金等課税額の世帯別平等割額	1世帯につき 7,900円	特定世帯以外の世帯	7,900円
		特定世帯	3,900円

特定世帯に係る保険税の減額

区分	基礎課税額の軽減額 (世帯別平等割額)		後期高齢者支援金等課税額の軽減額 (世帯別平等割額)		
	改正前	改正後	改正前	改正後	
7割軽減	1世帯につき 12,250円	特定世帯以外の世帯	1世帯につき 5,530円	特定世帯以外の世帯	5,530円
		特定世帯		特定世帯	2,730円
5割軽減	1世帯につき 8,750円	特定世帯以外の世帯	1世帯につき 3,950円	特定世帯以外の世帯	3,950円
		特定世帯		特定世帯	1,950円
2割軽減	1世帯につき 3,500円	特定世帯以外の世帯	1世帯につき 1,580円	特定世帯以外の世帯	1,580円
		特定世帯		特定世帯	780円

区 分	改正前	改正後
扶養親族1人につき	日額 200円	日額 217円

◎消防団員等公務災害補償に関する条例の改正
（賛成全員）
ポイント＝非常勤消防団員等に係る損害補償の基準を定める政令の一部改正に伴い、配偶者以外の扶養親族に係る補償基礎額（日額）を引き上げるものです。
施行期日は平成20年4月1日。

条例関係



6月

定例会

平成20年第2回定例会日程

月	日	曜	会 議 名	主 な 内 容
6	2	月	本 会 議	町長提出議案の説明
	5	木	本 会 議	一般質問（6人）
	6	金	本 会 議 総務建設常任委員会 教育民生常任委員会	一般質問（4人） 所管事務調査
6	13	金	本 会 議	提出議案の総括質疑 討論・採決、追加議案の説明・質疑・討論・採決

一般会計補正予算の内容

歳入

事業	金額 (千円)	内容
交付金	1,754	住民基本台帳電算処理システム改修費交付金
民生費寄附金	300	社会福祉費寄附金増額
教育費寄附金	26,000	梅沢公民館建設事業費寄附金
雑入	2,300	一般コミュニティ助成事業助成金
合計	30,354	

歳出

事業	金額 (千円)	内容
選挙管理委員会費	599	住民基本台帳電算処理システム改修費増額
ハートピア基金費	300	ハートピア基金積立金増額
事務局費	1,155	事務局経費増額(賃金)
社会教育総務費	2,300	原白青少年健全育成囃子長胴太鼓等購入事業費補助金
公民館費	26,000	梅沢公民館用地取得費 梅沢公民館建設事業費補助金
合計	30,354	

◎平成20年度一般会計補正予算(第1号)
(賛成全員)
ポイントII今回の補正は歳入歳出にそれぞれ3千35万4千円を追加し、歳入歳出予算の総額を129億3千335万4千円とするもので、主なものは、住民基本台帳電算処理システム改修費や梅沢公民館建設事業関連に伴う経費などです。
なお、補正額の内容は次表のとおりです。

◎(仮称)愛川町新郷土資料館展示資料等製作委託
(賛成15人・反対2人)
現在、県立あいかわ公園内に建設している(仮称)愛川町新郷土資料館の展示資料等の製作を委託するものです。
請負契約金額 9千849万円
業務場所 半原地内
請負契約の相手方 株式会社 トリアド工房
業務は平成21年2月27日まで。



現在建設中の(仮称)愛川町新郷土資料館

補正予算

製造請負契約締結

財産の取得

◎高規格救急車購入
平成20年11月29日
納入期限
取得価格 1千732万5千円(2台)
納入者 日本機械工業株式会社 東京営業所

◎神奈川県後期高齢者医療広域連合の規約変更
(賛成14人・反対3人)
「高齢者の医療の確保に

事件議案

◎ハイブリッド塵芥収集車購入
(賛成全員)
2トン級塵芥収集車が排ガス規制により、使用できなくなることから2台を更新するものです。
取得価格 1千480万5千円(2台)
納入者 神奈川三菱ふそう自動車販売株式会社 相模原支店
納入期限 平成21年3月19日
◎消防団用小型動力ポンプ付積載車購入
(賛成全員)
配属する消防団は、田代区を管轄する第1分団第6部及び上熊坂区、熊坂区、春日台区を管轄する第3分団第1部の計2台を更新するものです。
取得価格 1千102万5千円
資器材(33点)他
納入者 エイバン商事株式会社
納入期限 平成20年12月25日

◎消防署半原分署で使用している高規格救急車を更新するものです。
取得価格 1千921万5千円(1台)
納入者 神奈川トヨタ自動車株式会社 中津店
納入期限 平成20年12月25日
◎高規格救急車救急資器材購入
(賛成全員)
消防署半原分署に配属する高規格救急車に、積載する救急資器材を購入するものです。
取得価格 1千102万5千円
資器材(33点)他
納入者 エイバン商事株式会社
納入期限 平成20年12月25日

結論の出た陳情

(敬称略)

件名	結論	陳情者
神奈川県最低賃金改定等について陳情	机上配付	日本労働組合総連合会 神奈川県連合会 厚木愛甲地域連合 議長 加藤 良 秋

請願・陳情のゆくえ

今回の定例会で結論の出た陳情は次のとおりです。
関する法律施行令」の全部改正及び県下全市町村で後期高齢者医療に関する条例が制定されたことに伴い、市町村の事務を広域連合規約に規定し、明確にしたものです。



一般質問

学校給食を活用
 教育長 食育の推進に当たっては、生きた教材としての給食指導に加えて関連の家庭科や保健体育などの教科、特別活動における他の活動など、学校教育活動全体で取り組むべき大切なことです。中学校についても学校給食を導入する場合には、生きた教材である学校給食を活用して、栄養バランスや食文化に配慮して、指導を行うことや、給食の準備

公平な公費負担 今後の研究
 町長 町内には、県立愛川高校がありますが、高校へ進学する生徒の8割が町外への通学となっています。教育費が、年々増加する中で家庭での負担は大変なものとして承知しています。町内外への高校へ通学する全ての生徒が、交通機関による通学ではなく、自転車通学や家庭での送迎など様々な実態があり、公平な公費負担の観点から、今後研究したいと考えています。

要請により 説明会開催
 教育長 本町の中学校給食導入に向けてのフォーラム的な議論の場の開催は考えておりませんが、今後、検討委員会からの答申経過と内容、及びアンケート結果などについては、希望により、出向いて説明したいと考えています。



中津第二小学校調理室

問 本町の現状に照らし、中学校での食育の推進をどのように考え、また位置づけていくのか伺います。

中学校での食育推進の考え
 小林 敬子議員



問 本町は、公共交通手段がバスしかありません。そこで、町外に通う、高校生の通学費補助制度の創設を要望します。

町外に通う高校生 通学費補助制度を
 渡辺 基議員



問 中学校給食の完全給食化を進める場合に、全町的な討論の場が必要だと思います。そこで、町の考えを伺います。

中学校給食について
 渡辺 基議員



問 活気あるまちづくりにには、サポートセンターの存在は不可欠です。そこで、将来構想を伺います。

「町民活動サポートセンター」 これからの取り組みは
 行政推進課長 町民公益活動支援策の一つとして環境

問 今後はソフト面の充実を図る

の整備があり、活動の拠点としてサポートセンターを開所しています。今後は、スタッフのコーディネート機能を充実と、公益活動を支える人材の育成とともに、サポートセンターを様々な方法で広く周知し、気軽に参加できるような環境づくりに努めます。

**新型インフルエンザ
対策と対応**



小島 総一郎議員

問 鳥インフルエンザ H5N1型が変異し、人から人へ感染しやすい性質になり短期間に拡大して大流行する、恐れの大い新型インフルエンザの対策について、本町では、対応マニュアル策定等の取組みをするのか伺います。

**町の対策行動計画
ベースに作成**

町長 新型インフルエンザ対策は、広域的な視点に立つて対策を講じる必要があります。厚木保健福祉事務所、厚木医師会、厚木市、愛川町、清川村の関係機関で協議を重ねています。

県の「新型インフルエンザ

「ザ対策行動計画」をベースに、関係機関と連携し、マニュアルの作成に取り組んでいきたいと考えます。



現在の郷土資料館
＝半原小学校敷地内

**「現郷土資料館」
今後の取り扱い**

問 仮称「愛川町新郷土資料館」が、あいかわ公園内に完成します。そこで、半原小学校にある現在の資料館建屋の今後の利用方法、取り扱いは伺います。

**建築基準法が壁
さらに調査検討**

町長 郷土資料館として利用

用している旧小学校校舎については、建築基準法の関係で、現状のままでは保存は困難であり、新たな資料館としての利用を断念し、現在に至っています。

現状では、本年秋頃まで利用し、その後についてはさらに調査検討し方向づけをしたいと考えます。他の質問事項①地球温暖化防止の取組み

**NPO送迎サービス
撤退後の対応**



井上 博明議員

問 交通弱者に対する送迎サービスでNPO法人「楽生」さんが3月で撤退された。3月議会でも送迎が継続できるように町長に要請しました。その後の協議について伺います。

**再開に向け個人や
団体へ協力を要請**

町長 外出支援事業の継続に向けた解決策については、現在、楽生代表と連携し、この事業が再開できるように運営の責任者の方を探しています。NPO法人の設立前に移送サービスを行っていたボランティアグループや移送サービスに精通している団体、個人の方などへ協力要請を行っています。

**「シルバー人材センター」
室内作業所の確保**

問 シルバー人材センターの室内作業所の確保で、共産党は従前から早期確保を要請し、町長は生きがい事業団が法人化された折に協議を進めると答弁されました。その後の状況について伺います。

**自立は厳しい状況
必要な支援は行う**

町長 室内作業所の確保については、シルバー人材センターとして、法人化後1年を迎えた段階であり、自立には厳しい状況にあります。仕事の受注見込や作業所の規模などの課題について調査・研究を行っていくこととあり、町としても、健全な運営が行えるよう必要な支援をしたいと考えています。

他の質問事項①医療対策②鳥獣被害対策③介護予防



再開が望まれる福祉有償送迎サービス

町長 厚木市では、新しい施設建設場所を選定する委員会を立ち上げたところです。稼動までの間、金田の環境センターで処理することになります。本町では、

**建設場所を選定中
資源化推進に努力**

問 平成24年度稼動に向けて厚木・愛甲で進めているごみ処理計画中間ごみ処理施設の建設予定地が、地元の反対で見通しが立たない様ですが、進捗状況を伺います。
美化プラントは23年度で閉鎖し、その後は厚木市に委託する事になりますが、一層のごみ減量化・資源化に向けての取組みを伺います。

**広域ごみ処理施設
進捗と減量化**



小倉 英嗣議員



環境にやさしいハイブリット仕様の公用車

**国・県の動向注視
助成は研究課題**

問 地球温暖化の影響で毎年の様に、世界中で記録的な豪雨や大干ばつが発生しています。国では電気自動車等に割高分の2分1を補助していることから、県でも来年度から国庫補助の2分1を検討しています。本町では、太陽光発電設置に補助金を出していますが、電気自動車にも助成できないか伺います。

電気自動車にも補助金を

資源化率24%を目指して取り組んでいるところです。今後、資源化推進に向けて、啓発活動を通して自然にやさしいライフスタイルの環境づくりに努めます。

町長 国内CO₂の2割を自動車排出しています。リチウムイオン電池の次世代電気自動車が来年度販売される予定で、県は今年の3月にかながわ電気自動車普及推進対策を策定し2014年までに3千台の普及を目指しています。町としては国・県の動向を注視し、助成については、研究課題とします。

他の質問事項①有害鳥獣とヤマビル

町長 本町では、小学校給食の運営実績も好評をいただいています。
食は生きる上での基本であり、知育、徳育、体育の基礎となるべきものです。本町を取り巻く近隣市町村の状況などを考え、答申を尊重して本町中学校給食の望ましいあり方について出来る限り、早い時期に結論を出したいと思います。

**答申を尊重し
早期に結論を出す**

問 中学校給食導入検討委員会より、答申が出され、共同方式、自校方式、業者委託方式があるが、町長の基本的な方針と方向は、どの様に考えているのか伺います。

**中学校給食導入
具体的な方式は**



熊坂 弘久議員

町長 八菅山展望台周辺は、平成17年に地権者の了解を得て、高木の枝打ちを

**引き続き整備管理
に努めていく**

町長 八菅山展望台周辺は、平成17年に地権者の了解を得て、高木の枝打ちを

問 本町は多彩な自然と独自の景観を有しています。そこで、八菅山展望台周辺の見晴らし確保と八菅橋橋脚の落書きについての考えと対処について伺います。

町内の景観整備について



八菅橋橋脚の落書き

論を出したいと考えます。

行いました。今後は、下谷八菅山地域の里山を守る会と連携を図り展望確保の管理に努めたいと考えます。また、八菅橋橋脚の落書きについては、県などと同様に、本町も憂慮しており、今後、警察や河川管理者等関係機関と協議し、効果的な防止策の検討を行います。なお、警署看板については、設置をしたいと考えています。

他の質問事項①有害鳥獣対策

**「子育て支援」
紙おむつより布おむつを**



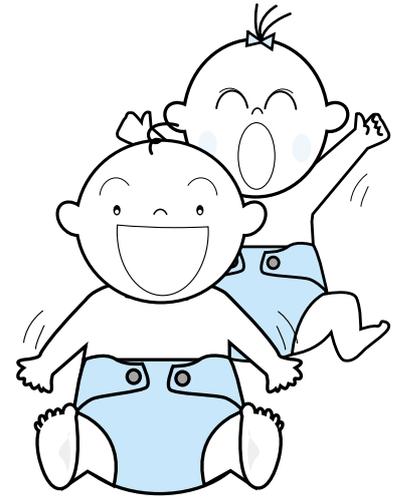
熊坂 徹議員

問

紙おむつは使い捨てで、布おむつのように再利用できず、ごみとして排出され、美化プラントで焼却処理され、二酸化炭素が発生します。地球温暖化を促進する紙おむつを子育て支援のためとはいえ、税金を使って支給することについて考えを伺います。

**現状支援が最善
意見を伺い研究**

町長 子育ての経済的負担の軽減と支援をする上で現状では、紙おむつの支給が最善と考えます。しかし環境問題として、ごみの減量化や地球温暖化防止対策も、重要なことと認識していま



す。今後、子育て中の方々のご意見を伺いながら希望者数などを考慮した中で、

布おむつについても研究したいと考えます。

**「生ごみ処理」
環境に優しい方法で**

問

本町には、電動式生ごみ処理機に対する補助があり、ごみを減らすという目的はよくても、貴重な電気を使うのは、問題です。生ごみ処理には、電気を使用せず微生物を利用した方法もあり、行政として環境に優しい方法を進めることについて伺います。

町長 本町では、平成13年度から電動生ごみ処理機、また、19年度からはEMほかしを使った密閉式生ごみ処理容器に対し、補助を行っています。循環型社会の形成や地球温暖化など総体的に考慮すると様々な意見があると思いますが、電動式生ごみ処理機の補助事業は、本町の生活環境の向上に効果を上げていると考えます。

**EMほかしも採用
生活環境も向上**

**福祉避難所
民間との協定**



井出 一己議員

問

要援護者の、対象者一人一人に適した避難施設を確保するには、多くの施設が必要になります。福祉避難所として、旅館や民間企業の寮などと協定を締結する考えについて伺います。

**一部企業の施設
可能性を協議中**

消防防災課長 災害時の要援護者の中には、健常者である避難者との協同生活が困難になってしまう方もいますので、そうした面も含めて、現在、特別養護老人ホームや一部企業の施設の利用が可能かどうか、関係者と協議を進めているところです。

安全な歩道整備の対策は

問

バリアフリー対策を含めた歩道整備の対策と、6月から道路交通法改正で、小学生以下の幼児・児童の自転車走行が出来るようになり、走行に義務付けられる幼児用ヘルメットの購入補助考えについて。また、利用者の安全のために「自転車運転免許制度」導入の考えについて伺います。

**財源確保に努め
継続的に取組む**

町長 歩道整備は、必要不可欠な施策であることから、財源確保に努め、継続的な取り組みをしていきます。民生部長 ヘルメット購入補助は、今後の研究課題とします。

自転車運転免許制度については、警察署、交通関係団体等の意見を伺い研究し



自転車及び歩行者専用標識が設置されている
桜台・小沢線の歩道 (中津大塚地内)

町長 乗降客数の推移は、愛ちゃん号の運行を開始した平成14年度から平成19年度まで過去6年間の延べ人数で33万4千809人であり、年々増加している状況です。また、車両の製造時期は、平成14年8月に製造されたもので、排気量2,000ccのガソリンエンジンを搭載し、変速機はオートマチックギアとなっています。

19年度が10万人超 年々増加傾向

問 県立あいかわ公園内唯一の公共輸送機関である、ロードトレイン愛ちゃん号の乗降客数と車両の製造時期及び動力源について伺います。

愛ちゃん号 乗降客数は
山中 正樹議員



人気の高いロードトレイン愛ちゃん号 (県立あいかわ公園)

「宮ヶ瀬湖遊覧船」 船着場の整備状況

問 宮ヶ瀬の観光資源の一つであり、また交通インフラでもある遊覧船みやがせ21の船着場の整備と高齢者への対応について伺います。

町長 みやがせ21の乗船場所には3箇所あり、湖の増水や渇水時の湖面の上下移動

湖面上下可動に対応するフロート式

に対応できるフロート式となっています。また、安全管理については、乗船場所の進入路にあるゲートを遊覧船の出発・到着以外は閉鎖するとともに監視カメラを設置し、保安・警備に努めているとのことでした。

町長 現在、大豆・小麦など食品原材料の急激な高騰により、給食費の値上げも相次いでいます。現在、県では米飯給食の回数を増やす検討をされているようですが、町としての考えを伺います。

米飯給食の現状と回数増の考え
近藤 幸子議員



食習慣の維持と健康の為に検討中

町長 子どもたちへの正しい食習慣づくりのために、また、御飯を中心とした日本型食生活の推進と健康づくりのためにも、米飯給食は大切だと考えます。

最近の物価高騰や自給率の向上のための対策方法としてパンに比べ、米飯の方が安価であることや、栄養

「パーキングパーミット制度」 利用対象者に駐車証発行を



パーキングパーミット制度の駐車許可証

のバランスのよい食事がとれ地産地消を推進する上で、米飯給食の回数増について検討しているところです。

問 大型店舗などで身障者マークがある駐車場がありますが、対象者でない方が駐車し、また、身障者マークを一般店舗で購入し、悪用する方もいます。身体障がい者の方たちへ駐車場の利用証を交付し、駐車スペースを確保するパーキングパーミット制度を導入する考えを伺います。

町長 この制度は、真に必要とする方が障がい者専用駐車場を利用できるメリットがあります。利用証の交付を受けていない区域の方も利用できるように、広域的な取組みも必要なので、県の状況などを見ながら研究していきたいと考えます。他の質問事項①エコバック 推進

県の取組み状況を見ながら研究

総括質疑

ここが聞きたい! そこが知りたい!

馬場 司 議員(あいかわクラス)

Q (仮称) 愛川町新郷土資料館展示資料等製作委託と各議案の(33号から35号まで)の予定価格と落札率について

予定価格は、1千389万1千500円であり、落札率は79・37%です。

Q 高規格救急車のハイブリッド車等の検討について

A 愛川町新郷土資料館展示資料等製作委託の予定価格は、1億294万2千円であり、落札率は95・68%です。

しかし、行政としても率先して環境に配慮した対応が求められていることからハイブリッドの検討をしましたが、最新の排出ガス規制基準に適合する環境性能を有する車両を仕様書に定め、入札を行ったものです。

消防団用の小型動力ポンプ積載車2台の予定価格は1千755万6千円であり落札率は98・68%です。

高規格救急車の予定価格は1千929万9千円であり落札率は99・56%です。

高規格救急車救急資器材の



更新予定の消防半原分署高規格救急車

鳥羽 清 議員(愛政クラス)

Q (仮称) 愛川町新郷土資料館展示資料等製作委託の展示資料等の製作内容について

パネルが117点、このほかにイノシシやタヌキなどの哺乳類、アユやウナギなどの魚類、カワセミ、アオゲラなどの鳥類の剥製37点が主な内容です。

Q ハイブリッド塵芥収集車の仕様について

A 展示資料のうち主なものについては、20分の1の大きさの擦糸工場模型と、縦横2メートルの相模飛行場の模型です。

また、レプリカについては資料館の目玉の一つとなる、エントランスホールに設置する、全長5メートル、幅が1.2メートル、高さが約2メートルのステゴドンゾウの全身骨格や、町内に自生するカタクリなどの植物、それからカエルや蛇などの両生類、さらに爬虫類など、45点を予定しています。

また、動物や植物の写真

A 2トン級ハイブリッドトラックシャーシに巻き込みプレス式塵芥積載装置を架装した塵芥収集車であり、シャーシ等の動力は、ディーゼルと電動モーターのハイブリッドで、125馬力以上とし、平成17年排出ガス規制に適合していること、タイヤ及び照明灯類など14項目、並びに架装では、積載内容、積み込み機構の指定など、21項目を定めた仕様です。

井上 博明 議員(共産党)

Q 消防団員の待遇や補償などの充実についての取り組みについて

A 消防団員の待遇は、その職務の重要性にかんがみ、報酬、出勤手当、公務災害補償、退職報償金の支給、消防弔慰金などの諸施策を講じ、活動環境の整備に努

このうち、本町における消防団員の報酬については、県下でも上位の報酬を支給しています。

その他については、制度の性格などから、政令基準や国が示す条例・準則に沿って定めるものとされている

めています。

ことから、内容的には、社会経済情勢が的確に反映される仕組みになっているものと考えています。

Q 条例改正に伴う配偶者以外の扶養親族を抱える消防団員数について

A 平成20年4月1日現在で94人です。



Q (仮称) 愛川町新郷土資料館展示資料等製作委託において、特に力を入れた特徴的な点について

A 本町の特徴的な文化財の資料の一つである、小沢の地層から、出土した県内最古のステゴドンゾウの化石をもとにした、全身骨格のレプリカを、エントランスホールに展示していくこととしています。大きさに応じては、全長約5メートル、幅約1.2メートル、高さ約2メートルあり、来館された方の印象に強く残る、迫力ある展示物になるものと考えています。

めています。

よく使われる議会用語解説

あ 行	解 説
委員会付託 (いはいんかいふたく)	本会議において議題となっている議案等について担当の委員会に詳しい審査をまかせることをいいます。
一般質問 (いっぱんしつもん)	議員が議長の許可を得て、行政全般について質問することをいいます。
か 行	解 説
議案 (ぎあん)	議会の議決を求めめるために町長、議員が提出する案件のことをいいます。 条例の制定・改正・廃止、予算、決算、人事、意見書提出などがあります。
議案質疑 (ぎあんしつぎ)	議案の提出者に対して、議案の内容や提案の理由などについて、疑問の点や不明な点を問うことをいいます。
議決 (ぎけつ)	議会で議案などに対し (可否) 賛否を決定することをいいます。 可決 (否決) : 予算、条例、契約、意見書、決議、その他 認定 (不認定) : 決算
継続審査 (けいぞくしんさ)	議会の会議に付せられた事件を当該会期中に何らかの結論がでず、当該事件を付託された委員会が継続して審査を行うことをいいます。
さ 行	解 説
採決 (さいけつ)	議長が出席議員に賛否の意思表示を求め、その意思表示を集計することをいいます。
採択 (さいたく)	議会に提出された請願・陳情について議会が願意を妥当と認めることをいいます。
質疑 (しつぎ)	会議において議題となっている議案などに対し疑義をただすことをいいます。
提案説明 (ていあんせつめい)	議会に提出した案件について、提出の理由とその案件の主な内容を明らかにするために提出者が行う説明のことをいいます。
常任委員会 (じょうにんいはいんかい)	議会が一定の部門の当該地方公共団体の事務に関する調査及び議案、陳情などの審査を行わせるために、条例で定めて常設する委員会のことをいいます。
審議 (しんぎ)	本会議において、議案などの案件について、説明を聞き、質疑し、討論を重ね、表決する一連の過程のことをいいます。
審査 (しんさ)	委員会において、付託を受けた議案等を討議し、委員会としての結論を出す一連の過程のことをいいます。
た 行	解 説
討論 (とうろん)	表決を行う前に議題に対して賛成または反対の意思を表明することをいいます。
は 行	解 説
表決 (ひょうけつ)	議員が議案に対して賛成または反対の意思を表明することをいいます。
不採択 (ふさいたく)	議会に提出された請願・陳情について議会が願意を妥当と認められないことをいいます。

町民の声

将棋と私



荻田 繁男 さん
(田代在住)

私の生まれは栃木県足利市ですが、縁あって愛川町の住民になって37年になる66歳の壮年です。

私は、子供の頃から将棋が好きで、現在、愛川町将棋愛好会会長(愛川町文化協会所属)を長年しております。将棋が好きのため、今から26年前に、仲間3人と愛川町将棋同好会を立ち上げました。現在の私たちの活動は、月1回月例将棋大会の開催と、年1回のふるさと祭り将棋大会です。それぞれ約20名ぐらいの人が参加しております。

個人的には、別に用がなければ厚木王将道場や厚木健康センター等に行つて将棋を楽しんでおります。そのおかげで、愛川町に来た時は友人が皆無に等しかったが、現在では親しく話のできる友人は、かなりの人数になっております。

現在、文化協会所属の団体は、23団体あり、それぞれが文化協会より、支援を受けて活動しております。この様に、趣味を通して友好活動することにより人生の潤いがあり、楽しくなりました。皆が趣味を通して

和気あいあいと、生活していけば町の活性化につながっていくと信じています。



編集後記

北京オリンピックも中盤に入り、日本のメダル量産獲得に期待し、さらなる健闘を祈りたいと思います。

また、愛川北部病院の建設工事も、本格的な工事に入っております。さて、6月定例会では、一般質問など製造請負契約の締結や財産の取得などの各議案に対して質問、質疑を行い、活発な議論を展開しました。

次回の9月定例会は19年度決算を審議する重要な議会です。ぜひ、傍聴においでください。

傍聴のお知らせ

9月定例会は下表のとおりです。本会議はいずれも午前9時から開会されます。また、本定例会の運営を協賛する議会運営委員会は、8月22日(金)に開催予定です。

平成20年第3回定例会日程(予定)

月	日	曜	会 議 名
9	2	火	本会議 (提出議案の説明)
	3	水	本会議 (一般質問)
	4	木	本会議 (一般質問)
	9	火	本会議 (総括質疑)
	11	木	総務建設常任委員会
	12	金	教育民生常任委員会
	16	火	総務建設常任委員会
	17	水	教育民生常任委員会
	24	水	本会議 (委員長報告・討論・採決)
	25	木	(予備日)

陳情・請願の締切日は、8月15日(金)になります。日程が変更になる場合もありますので、詳しくは議会事務局にお問い合わせください。なお、町ホームページでもご覧になれます。

ご覧ください 会議録

議会だよりは、紙面の都合により、発言の一部を掲載しています。詳しくは、下記の町公施設に備え付けてある「会議録」をご覧ください。なお、6月定例会の会議録は、9月中には備え付ける予定です。

会議録設置施設

- 半原出張所
- 中津出張所
- 役場本庁窓口
- 福祉センター
- 文化会館図書館
- 農村環境改善センター
- 半原公民館
- 中津公民館

- 議会だより編集委員会
- 委員長 馬場 司
 - 副委員長 近藤 幸子
 - 委員 渡辺 基
 - 委員 熊坂 弘久
 - 委員 井出 一己
 - 委員 成瀬 和治
 - 委員 小島総一郎
 - 委員 鳥羽 清
 - 委員 小林 敬子